

富士山文庫

411.1

Un

1

運氣論算法俗解

中

419.2  
L

No. 821



富士川文庫

212



大小

運氣論與算法俗解卷之中

貞菴 香月啟益牛山甫 纂述

陰陽家說謂日月之行自有前後遲速不等固無常  
準則有大小盡之異也

コレ經文ノ大小ノ月ヲ解スル也陰陽家トハ  
玉冰ノ註ニ所引ノ大史ノ說也言心ハ日月ノ  
行度前後遲速ノヒトニカラザル事アル故ニ  
常ノ準則ナシ準則トハ一定ノ則ナリ常ノ則  
ナキ故ニ大小ノ月ノ異アル也盡トハワゴモ

運氣論與算法俗解卷之中



リト云、心晦日ニ八月ノ光ツクル故ニ盡ト云  
 七月ノ光ツキテクラクナルヲ以晦ト云フ和  
 訓モ月コモルト云ノ義也一月三十日アルヲ  
 大盡ト云ヒ二十九日アルヲ小盡ト云也月ト  
 日ト會スル事二十九日五十三刻余ニテ會ス  
 コレヲ一月ト云フ一年二十二會也故ニ二十  
 九日ノ翌日五十三刻ハ二日月會シテ朔トス  
 朔トハ和訓月立ト云意也一日ノ刻數百刻十  
 ル故ニ五十三刻ハ半日過也コレ二十九日ノ  
 翌日半日過テ會ス其會スル日ヲ朔ト云フ故

ニ二十九日マデハ前ノ月ニシテ三十日自ハ  
 後ノ月也此前ノ月ハ小也サテ二十九日ノ翌  
 日半日過テ會スル故ニ其月ノ第二十九日ハ  
 日月ノ會シタル刻限ヨリ數レハ漸二十八日  
 有奇ナレバ日月イマダ會セズ第三十日ニ至  
 テ二十九日有奇ナレハ前ノ朔午中ヨリ後十  
 ル故ニイマダ五十三刻ニ滿ズ第三十一日ニ  
 至テ始テ二十九日五十三刻ヲ隔ル故ニ日月  
 相會シテ朔トナル其故ニ其月ヲ大盡ノ月ト  
 云フ也如是有奇ツモリテ大トナリ有奇ツキ

テ小トナルコ、ヲ以大小ノ月アル也其算法  
委ク下ニ記ス○此本文玉冰ノ註ニヨリテ見  
レハ前後遲速ハ月行ノ事ニ限ル也其故ハ日  
ハ一日ニ一度ヲ行テ月ハ十三度有奇ヲ行ハ  
大抵ノ平行ニテ實ハ月ノ行事遲速アリテ七  
日毎ニカハル事アリコ、ヲ以曆家ノ説ニ少  
七度不及日ト云ヲ祕傳トスル也玉冰ノ註ニ  
ハ一月ヲ五ニ刻テ遲速平行ノ多少ヲシルス  
也コレ月ニ前後遲速ノ不等事アルヲシルセ  
リ然レ實ハ日ニモ盈縮アリテ一年ヲ四ニワ

ケテ盈初縮末縮初盈末等ノ不同アリテ毎日  
行度不同故ニ曆ニ一年ヲ十二ニワケテ日月  
ノ會スル處ヲナラシテコレヲ經朔ト云盈縮  
ト月ノ遲速トノ差ヲ以經朔ヲ加減シテ日月  
實ニ會スル所ヲ知ル是ヲ定期ト云或ハ合策  
ト云フ  
本三百六十五日四分度之一即二十五刻壹爲一  
歲

コレ經文ノ三百六十五日ニシテ成歲ト云ヲ  
釋スル也四分度ノ字ハ日ノ字ニ作ルヘ

レ一日ヲ四ツニワケタル也言フ心ハ本三百六十  
 十五日ナリ其上ニ又一日ヲ四ツニワリタル  
 ヲソヘテ爲一歲則二十五刻トハ四分日ノ一  
 ヲ釋也一日ハ百刻ナルユヘニ百刻ヲ四ツニワ  
 レハ二十五刻也コレ日ト天ト會スルノ數即  
 前ノ年ノ冬至ヨリ今年ノ冬至マテノ間也コ  
 レヲ一歲トスル也

自除歲外之餘則有三百六十日  
 コレヨリ以下盈閏スト云ニ至ルマテハ氣餘  
 ヲ積テ盈閏スト云本文ヲ釋スル也歲外ノ餘

注

大小

ト云ハ五日零二十五刻也是ヲ通餘ト云フ一  
 年ノ氣盈也十五日ヲ一氣トシ三十日ヲ一月  
 トスレハ一年二十四氣十二月合テ三百六十  
 日其五日零二十五刻ハ日バシタノツモリナ  
 リコレヲ除ケバ一年即三百六十日也  
 又除小月所少之日六日止有三百五十四日而成  
 一歲六六六小十也  
 此亦大數ヲ云ナリ小ノ月所少ノ六日トハ一  
 年ヲ六大六小ニ分テ小ノ月一日ノ不足合セ  
 テ六日コレヲ以三百六十ノ内ヲ減シ余三百

五十四日也。是ヲ地ノ一歲ト云、也。月ノ大小ア  
 凡故ハ上ニ註ス然、凡不盡ノ多少ニヨリテ或  
 ハ七大五小又ハ五大七小モアリ大略ヲアケ  
 テ六大六小ト云、也。實ニ八日ト月ト會スル一  
 月ノ定數二十九日五十三刻余ナリコレヲ十  
 二合セテ三百五十四日三十七刻一歲ノ定數  
 也。三百五十四日ト云、ハ六大六小ノ大數也。廿  
 テ一月ノ定數ヲレル算法ハ上ニ云、所ノ七度  
 ヲ少テ不及日ト云、ニテスル也。コレ二十九日  
 ニ八月イマダ不及日翌日七度ヲ行、盡トキ日

六度七  
 十六分  
 四十三也

ト會スルユヘニ二十九日有奇也。七度ハ上ニ  
 云、ゴトク、實ニハ六度七十六分之四十三也。日  
 十月トヲ對シテ見レハ日ハ毎日一度月八十  
 三度十九分ノ七ナルユヘニ日ニサキダツ事  
 十二度十九分ノ七也。故ニ一日ヲ十二度有奇  
 ニテワリテミレバ一度ニツキテ日ハ何刻ト  
 云、事シル、ナリ月十三度有奇ノウチ六度有  
 奇、一テ行、トキ日ト會スル故月ノ一度ヲ行、刻  
 數ニ六度有奇ヲカケテ何時會スルト云、事ヲ  
 知、然、凡算法ハカクル事ヲ先トシテワル事ヲ

算法

百刻  
三百二十  
五分是

後ニスルヲ可トス先ヅリテ後ニカクレハ不  
 盡ス夕リテ源ニアハザル也故ニ一日ニ六度  
 有奇ヲカケテ置キ其数ヲ十二有奇ヲ以ワリ  
 テミレハヨキ也コレ後ニ乗スヘキモノヲ先  
 乗レテ後ニ除ク理同レテ算法キレイナリ●  
 其算法ハ六度ヲ置テ分母ノ七十六ヲ乘シ分  
 子ノ四十三ヲ加ヘ、四百九十九ヲ得ルコレヲ  
 一日ニ乗シ按スルニ是算法ナシ一ニ四百九  
 實トス別ニ十二度ヲ置テ分母ノ十九ヲ乘シ  
 分子ノ七ヲ加ヘ、二百三十五トナルコレ月ノ

十九日

十九日四段ノ集ス七十六

十二度  
七歩

行度十九合セタルモノナリ實ハ七十六段ナ  
 ル故ニ相應セス故ニ又法ニ四ヲカクレハ九  
 百四十ヲ得ル法モ七十六段トナルコレヲ以  
 實ヲ約メ五十三刻九百四十分之八ヲ得ル法  
 實各切半按スルニ切半トハ算學家ノ詞ニテ  
物ノ數ヲ半分ニワカツヲ云フナリ  
 コレヲ四百七十四トナルコレヲ朔虚ト云フ二  
 十九日ニアハセテ二十九日五十三刻四百七  
 十分ノ四ヲ一月ノ定數トスコレヲ十二合セ  
 テ三百五十四日三十七刻ナリ其算法二十九  
 日五十三刻ヲ置テ分母ノ四百七十七ヲ乘シ分

運算法各解

1144 1145 1146 1147 1148 1149 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160

子ノ四ヲ加ヘテ一萬三千八百七十九日十四  
 刻ヲ得ル十二ヲ乘シ十六萬六千五百四十九  
 日六十八刻ヲ得ルコレ一年ノ數四百七十段  
 トス即チ四百七十ヲ以除之テ三百五十四日三  
 十七刻ヲ得ルナリ●今按スル二月ノ日ニヲ  
 クル、事十二度有奇日八毎日一度ナル故ニ  
 ヲクル、事十二度有奇ツモリテ周天ノ度數  
 ニヒトシキ時日ト會ス故ニヲクル、度數ヲ  
 以周天ノ度數ヲ得ルモ同シ事ナリコレヲ十  
 二合セテ一年ノ定數ヲ知ユヘニ先周天ノ度

數ヲワラガルサキニ十二ヲカケ置テ月ノ平  
 行ヲ以ツレハ直ニ一年ノ數ヲ得ル也其算法  
 三百六十五度ヲ置キ分母ノ四ヲカケテ分子  
 ノ一ヲ加ヘテ千四百六十一トナル十二ヲ乘  
 シ一萬七千五百三十二ヲ得ル一歲ノ數四合  
 セタルモノトスコレヲ實トナシ別ニ十二度  
 ヲ置キ分母ノ十九ヲ乘シ分子ノ七ヲ加ヘテ  
 二百三十五ヲ得テ又實ノ分母四段ヲ乘シ九  
 百四十ヲ得テ法トシ實ノ一萬七千五百三十  
 二ニ法ノ分母十九ヲ乘シテ三十三萬三千一



朔

朔  
六日

氣盈

五日廿五

百零八ヲ得テ法ヲ以實ヲ除ハ三百五十四日  
 三十七刻ヲ得ル是捷徑ノ術也所謂三百五十  
 四日三十七刻ヲ得ル也實ハ三十六刻有奇ナ  
 レ凡曆法ニ半法已上ハ一ニ收メテ不盡ヲ捨  
 ルニヨリテ三十七刻トハ云也  
 通少十一日二十五刻乃盈閏  
 コレ朔虛ノ六日ト氣盈ノ五日二十五刻トヲ  
 合セテ十一日二十五刻ナリ又コレ大數ヲ云  
 フ也天ハ常ニ間ナク三百六十五度四分度ヲ  
 行ク前ノ年ノ冬至ヨリ今年ノ冬至マテノ數

也地ニ受所ハ三百五十四日有奇ニテ前ノ年  
 ノ十一月ノ朔ヨリ今年ノ十一月ノ朔マテノ  
 數也故ニ朔ト冬至トノタカヒ一年ノ内十一  
 日二十五刻トナル此差ツモリテ閏月トナリ  
 テ天道ニタカハ又也  
 書曰暮三百六旬有六日以閏月定四時成歲即其  
 義也  
 コレ通シテ上ノ文ヲ結フ此文誤リテ遙ノ下  
 ニアリ文義ヲ見ニコ、ニウツシテ上ノ文ノ  
 結語トスヘシト松下西峰翁ノ運氣疏抄ニ記

ス義最好ニ暮トハ歳ノメクリト訓ス三百有  
 六旬有六日トハ書經ニ其大略ノ数ヲ舉テ説  
 也ハ閏月定四時成歳トハ右ノ如天ハ先キ立地  
 ハヲクレテ朔ト節氣ト次第ニ遠クナリテ不  
 順シ今月ノ中氣既ニ後ノ月ニ入ラントスレハ  
 閏月ヲ置事也故ニ曆家ノ説ニ中氣ナキ月ヲ  
 閏月トス譬ハ一年ノ閏余十日零八十八刻ア  
 リ三年ニ至テ三十二日六十四刻即チ一月ノ数  
 二十九日五十三刻ニアラハ故ニ閏月ヲ置テ  
 猶三日十刻余アラハ五年ニ再閏シ猶六日二

閏

十二刻アラル十九年ニ七閏シテ不盡悉クツ  
 クル也三年閏ヲ置サレハ正月ハ二月トナリ  
 二月ハ三月トナル七年ニ三度閏ヲ置サレハ  
 春ハ夏トナリ秋ハ冬トナリテ四時ノ次第亂  
 也

十九七閏之算法  
 朔實二十九日九百四十分日之四百九十九

是分母也一月ノ日分也二十分也

閏率十日九百四十分日之八百二十七是十月

朔ヨリ冬至テノ日数ナリ

通算

譬ハ去年十一月朔旦冬至ナレハ今年十一月朔ヨリ冬至ニテノ日ノ分數十日零九百四十分日之八百二十七也翌年ハ差事二十一日九百四十分日之七百一十四ト如是年々ツモリテ朔實ノ數ニ滿レハ閏月ヲ置キ天道タカハス三年ニ一閏五年ニ再閏十九年ニ七閏ヲ置キ又十一月朔旦ニ冬至ニカヘルノ義也

○十九年七閏シテ至朔同日ニナル算法

○古書ニ出タルハ皆俗ニ云フメノコ算ト云ニシタルモノナリ今本法ノ之分齊同ノ正術ヲ

以スレハ一年ノ閏率ハ朔實ノ何分ノイタクナク事ヲシル即閏率ハ朔實ノ十九分ノ七ナリ十九分ノ七トハ十九ニワカチタルモノナリ故ニ閏率ヲ十九合セ朔實ヲ七合セテ同數トナルコトヲ以十九年ニ七度ニテ氣朔分齊ト云フ事ヲ知ル也

○十九分之七ヲシル算法

先朔實二十九日ヲ置キ分ニ通シ内子二萬七千七百五十九日トナル

按スルニ是二十九日ニ分母九百四十分子四九十九ヲ加ヘタルモノナリ四百九十九ハ不

盡アリテ九百四十二ヲラレ又閏率ヲ分ニ通  
 ス故ニ算法如此スルナリ  
 シ内子一萬零二百二十七ヲ得算法コレヲ下  
 ニ置テ朔實ヲ分ニ通シタルヲ上ニヲキ少ヲ  
 以多ヲ減シ上下等シキ數ヲ得ルニイタル其等  
 キ數ヲ以約法トス算法上位二萬七千七百五  
 十九ノ内ヲ下位一萬零二百二十七ヲ以減シ  
 余一萬七千五百三十二トナル又減シ七千三  
 百零五トナルコレヲ以又下ヲ減シ二千九百  
 二十二トナル又コレヲ以上ヲ減シ四千三百  
 八十三トナル又減シ一千四百六十一トナル

コレヲ以又下ヲ減シ一千四百六十一トナル  
 是等キ數也此數ニテワレハ朔實七閏率モ不  
 盡ナクワル、ナリコレ其不盡ナクワル、法  
 ヲ求ル術也一千四百六十一ヲ以朔實ヲ約ス  
 レハ十九トナリ閏率ヲ約スレハ七トナルコ  
 、ヲ以閏率ハ朔實ノ十九ニワカチタルモノ  
 七ト云フ事ヲシル故ニ閏率ハ十九年ニシテ  
 二百零六日九百四十分日之六百七十三トナ  
 ル即朔實ノ數七ツ合セタルナリ七ツニワレハ朔  
 實トナル也故ニ曰十九年七閏而氣朔分齊ト

日下天  
ト會ス

云テ一周シテ其分齊キ也

運氣俗算

素問本說之算法

▲素問ノ日行事一度云フ算法

是日ト天ト會スル算法ナリ

天度ノ定數三百六十五度四分度之一

十リ四分度ノ一ハ

畫夜百刻天ハ天度ヲ行ツクニテ又一度行ク

八事一度畫夜百刻ニ日ハ天ニヲクル、事

十五度四分七厘五毛ヲク

日ノ天ニヲクル、定數九分一度ハ十九分十

リ一刻ニ一分九厘也

一月三十日ニ三十度

右一月ノ數三十度ヲ十二ツメハ

數ナリ三百六十度

十二月三百六十日ニ三百六十度

右三百六十日ノ數ヲ以天度ノ三百六十五

度四分七厘五毛ノ内ヲ引、ハ五度零四分七

運氣俗算去谷解卷之七

七

厘五毛夕ラス故ニ三百六十日ノ數ニ又五日ノ數五度ヲ加レハ天度ノ三百六十五三百六十五日ニ三百六十五度

右三百六十五日ノ數ヲ以天度ノ三百六十

五度四分七厘五毛ノ内ヲ引ケハ一夕天度

ニ夕ラサハ事四分七厘五毛ナリ故ニ三百

六十五日ノ數ニ又二十五刻ノ數四分七厘

五毛一刻ニ一厘ヲ加テ三百六十五日二十

五刻ニスレバ會スル三百六十五度四

百六十五日二十五刻ニ三百六十五度四

七厘五毛

右天度ノ全數三百六十五度四分度之一也

一度ハ十九分ナリ是則天ト日ト三百六十五日二十

五刻ニテ會スル也

▲素問ノ月行ノ事十三度而有奇焉ノ算法是月ト天ト會

スル算法ナリ

天度ノ定數三百六十五度四分度之一一度

九分四分度ノ一ハ六十九分九厘五毛

四分七厘五毛ナリハ六十九分九厘五毛

晝夜百刻ニ行ナリ天度ヲ行ツクニ又一度ヲ



二十七日ニ分三百六十度零十八分  
 右二十七日ノ數三百六十度零十八分ヲ以  
 天度ノ數三百六十五度四分七厘五毛ノ内  
 ヲ引ハ四度零五分七厘五毛ヲラズ故ニ二  
 十七日ノ數ニ又三十刻ノ數四度零ニ二厘  
 ヲ加ヘテ二十七日三十刻ニスレハ  
 二十七日三十刻ニ又三百六十四度十八分二  
 厘  
 右二十七日三十刻ノ數三百六十四度十八  
 分二厘ヲ以天度ノ數三百六十五度四分七

厘五毛ノ内ヲ引ハイマダ天度ノ數ニタラ  
 ガル事五分五厘五毛ナリ故ニ二十七日三  
 十刻ノ數ニ又二刻一刻ハ二分ノ數五分零  
 八毛ヲ加テ二十七日三十二刻ニスレバ  
 二十七日三十二刻ニ 三百六十五度零四分  
 二厘八毛  
 右二十七日三十二刻ノ數三百六十五度零  
 四分二厘八毛ヲ以天度ノ數三百六十五度  
 四分七厘五毛ノ内ヲ引ハ天度ノ數四厘七  
 毛殘ル是ヲ零ト云



零 四厘七毛 一刻八二分

右四厘七毛ノ數ヲ以二百五十四 此數ハ刻

重レバ四十七刻 一刻ニハ二分 二十九 此四

十七刻後ノ補數ニ五ルナリ 百六十五刻

天之一年十九年積數定數六千九百三十九日

七十五刻 百六十五刻

右ノ定數ハ前ノ二十七日三十二刻ヲ二百

五十四重子タル數ナリ 故ニ十九年ノ間ニ

二百五十四度ナリ 今此二十七日三十二刻ヲ二百五

十力サヌレバ 百カサ子テハ二千七百三十

十四百六十四日也 五十カサ子テ千三百六

十六日也 四カサ子テ百零九日二十八刻十

右都合二百五十四カサ子テ

六千九百三十九日二十八刻

右六千九百三十九日二十八刻ヲ以前ノ十

九年ノ定數六千九百三十九日七十五刻ノ

内ヲ引ケバ

四十七刻タラス

右四十七刻ノ不足ヲ補フニ秘傳アリ按ス

ルニ前二天度ノ數ノ殘四厘七毛ノ零アリ

此零四厘七毛ヲ以二百五十四力サ又レハ

四十七刻一刻ハ二分五厘四毛四十七刻ト

十力百力サ子テ四十七分又百力サ子テ九

分八厘八毛力サ子テ一

右都合二百五十四力サ子テ

百十九分三厘八毛トナル〇十刻ニ二分五厘〇四分

十分零八厘〇三十刻ニ七十分六厘〇四分

十刻二百分零六厘〇一刻ニ二分五厘〇四分

〇二刻二百分零八厘〇一刻ニ二分五厘〇四分

毛〇七厘〇六刻二十七分七厘八毛〇一刻ニ二分五厘〇四分

右都合百十九分三厘八毛トナリ即四十七刻

ナリ此四十七刻ヲ以前ノ六千九百三十九

日二十八刻ニ加レバ

六千九百三十九日七十五刻トナル

右天ノ定數十九年即六千九百三十九日七

十五刻ニ合スル也此十九年ノ内二月ト天

ト二百五十四度會スル也

▲素問ノ積氣餘而盈閏矣ノ算法是即閏月ノ算法也

天ノ一年ハ三百六十五日二十五刻六氣ヲ

天ノ一年ハ三十日八十七刻半ヲ云フ也

日之一年ハ三百六十日大ノ月ヲ十一月合セテ

運氣算法俗解卷之中

七

一月

フ一月ハ三十日也

月ノ一年ハ三百五十四日三十七刻小ノ月ヲ合セ

テ五ルヲ月ノ一年ト云フ一月ハ二十九日三

五十三刻ヲ十二合スレハ三百五十四日三

刻ヲ補フ事下ノ文ニ見ヘタリ

一月ノ定數二十九日五十三刻即前ノ

一年ノ定數合三百五十四日三十七刻月ノ

天ノ一年三百六十五日二十五刻ノ内ヲ日

ノ一年三百六十日ヲ引トキハ

之一年之數五日二十五刻ア是ヲ氣

盈ト云

月ノ一年ノ數三百五十四日三十七刻ヲ以

日ノ一年ノ數三百六十日内ヲ引トキハ

月之一年之數五日六十三刻タラズ是ヲ朔

虚ト云

右ノ氣盈五日二十五刻朔虚五日六十三刻

ノ數ヲ合スルトキハ

十日零八十八刻トナル

右毎年ノ餘數ナリ此餘數ヲ積テ閏月ヲ立

ルナリ凡閏月ト云ハ三年ニ一度ナリ右氣

算

算

算

盈朔虚ノ數合セテ十日零八十八刻ヲ三年  
ツムトキハ

三十二日六十四刻トナル  
右ノ三十二日六十四刻ノ内ヲ一月ノ定數

二十九日五十三刻引トキハ三日十一刻殘

テ一月ノ定數ニアハズ故ニ右ノ氣盈朔虚

ノ數合セテ十日零八十八刻ヲ十九年積テ

十九年二七度ノ閏月ヲ左ルトキハ一月ノ

定數二十九日五十三刻ニ合スル也

運氣論真算法俗解卷之中終

法其在大人觀合能...  
 三十二...  
 右ノ三...  
 二...  
 十一月...  
 一...  
 十...  
 定...  
 運...

